

本会議の 質疑から

条例・その他

土地の買入れについて
(北部丘陵整備事業用地)

議員 山林についても、今後購入予定があるのか。

農のまちづくり担当部長 山林がまだ約五四ヘクタール
公団名義で残っています。計
画的に町田市の名義にしたい
ので、現在の都市再生機構と
協議しております。

町田市原町田一丁目自動
車駐車場の指定管理者の
指定について・町田市体
育施設の指定管理者の指
定について

議員 町田市施設管理公社
並びに市立室内プール、二カ
所について、町田市の職員が
何人行かっているのか。

総務部長 施設管理公社に
ついては職員を派遣しており
ません。

議員 市民の方から、天下
り先じゃないのかと言われる
部分があるので、確認させて
いただきたい。

環境・産業部長 施設管理
公社の職員ですけれど、合計
一〇一名、そのうち元職員、
二三名という内訳になってお
ります。

生涯学習部長 プールの民
間企業で受託する事業体に施
設管理公社の職員は入ってお
りません。元職員も入ってお
りません。

予 算

精神障がい者援護費

議員 こころのケア相談事
業委託料について、どこで実
施されるのか、対象者は、家
族がふくまれるのか、精神障
がいの範囲は、利用目的、ど
のような機関、専門家と連携
しているのか。

健康福祉部長 市内の社会
福祉法人、NPO法人を公募
で選定し、委託したいと考え
ております。事業として、主
に精神障がい者と家族が対象
です。例えば精神障がい者が
複数おられ、多くの困難な問
題を抱えている家族、知的障
がいと精神障がいを重複して
いる方、高齢者で精神疾患の
ある方、精神疾患がある児童
とその親で心に悩みのある方
など、心の相談を必要とされ
る方も対象とします。従来連
携が取りにくかった子ども、
高齢、障がいの各関係機関と
行政が協働して相談支援を行
ってまいりたいと思います。

市民ホール費

議員 備品購入費について、
購入の理由、内容はなにか。

生活文化担当部長 市民ホ
ールで使いますグラントピ
アノの購入費で、一九七八年
に開館と同時に購入いたしま
した。公共のホールで使用さ
れるピアノの寿命は約一〇年
が一般的で、使用後一五年を
過ぎますと、老朽化のために
音の伸びがなくなり、三〇年
を超えると、弦の寿命で金属
疲労から自然断線が起ること
も想定されます。市民の皆
様に質の高い芸術を届けると
いう市民ホールの使命から考
えましても、ピアノの購入は
必要なものと考えております。

ごみ減量対策費

議員 当初の有料化の目的
に沿って事業は行われている
のか。

清掃事業部長 前年一〇月
に比較いたしました、家庭か
ら収集している可燃ごみが約
三割、不燃ごみが約五割の減
量になっております。事業系
の持ち込みの増分はございま
すが、かなりの減量になって
おります。また、有料化に伴
う収入で一〇月からペットボ
トルの集積所回収を実施いた
しました。生ごみ処理機の購
入者もかなりふえている状況
です。そのほか、有料化の収
入で啓発パンフレット等を作
成させていただいております。

平成17年度12月 補正予算のあらまし

平成一七年度二月補正予
算は、一般会計を一六億一九
万五千円、国民健康保険事業

八万三千円増額し、一一五
五億五七四万二千円とし、
特別会計を十七億九千九百七
四万四千円増額し一〇九億三六
四万一千円とし、総額を二
二五億九千四百一十三万三千円
としました。

一般会計補正額の歳入の主
なもの、市税一億九千九百九
万七千七百七十四円、国
庫支出金一億九千九百九
万七千七百七十四円、
財産収入一億九千九百九
万七千七百七十四円、
繰入金一億九千九百九
万七千七百七十四円、
市債一億九千九百九
万七千七百七十四円、
国庫支出金一億九千九
百九十七万七千七百七
十四円、

一般会計補正額の歳出の主
なものは、次のとおりです。
【総務費】
備品購入費(グラントピ
アノ)一〇二万八千円、シ
ステム導入委託料(行政評価
システム・税総合システム構
築費)一三九万六千二百円。
【民生費】
施設改修工事費(花の家吸
収冷凍機更新工事)一〇一
万五千円、国民健康保険事業

会計繰出金一億四千万円。

【衛生費】
緑地購入費(図師緑地、忠
生・図師緑地)一億三八
九万八千円、古紙等資源回収
委託料一億二千四百三十三
万七千五百一十一円。
【土木費】
ペデストリアンデッキ整備
工事費(ペデストリアン三
号デッキ上屋設置工事)一
億六千三百一十八万八千
九百六十三円。

【教育費】
非常勤職員報酬(学校サポ
ーター報酬)一億三千八百
六十六万六千六百六十六
円、消耗品費(小学校)(新
JIS規格机・椅子等購入費)
一億四千六百六十六万六
千六百六十六円、備品購
入費(小学校)(強化陶磁器
食器関係備品購入費)一
億三千八百六十六万六千
六百六十六円、消耗品費
(中学校)(新JIS規格机・椅子等購
入費)一億三千八百六十六
万六千六百六十六円。

平成17年度12月補正 会計別予算構成表

		(千円)		
区 分		補正前の額	補 正 額	計
一 般 会 計		113,937,889	1,619,853	115,557,742
特 別 会 計	国民健康保険計	32,228,772	879,016	33,107,788
	下水道事業会計	12,620,802	△ 11,882	12,608,920
	忠生土地区画計	2,203,595	—	2,203,595
	駐車場事業会計	246,993	960,318	1,207,311
	老人保健医療計	24,892,486	—	24,892,486
	鶴川駅北土地区画計	1,281,170	—	1,281,170
	介護保険事業計	18,458,379	1,573	18,459,952
	受託水道事業計	2,563,800	△ 29,251	2,534,549
	病院事業会計	13,540,640	—	13,540,640
	収 益 的	11,443,041	—	11,443,041
	資 本 的	2,097,599	—	2,097,599
	小 計	108,036,637	1,799,774	109,836,411
	合 計	221,974,526	3,419,627	225,394,153

会議の あらまし

定例会と臨時会

市議会は、毎年三月、六月、
九月、一二月の四回開かれま
す。これを定例会といいます。
このほか、必要に応じて臨時
会を開くことがあります。

市議会の招集は市長が行い
ます。また、議員定数の四分
の一以上の議員から招集の請
求があった場合にも、市長は
臨時会を招集しなければなら
ません。

本会議

本会議は全議員で構成し、
議員定数の半数以上の出席で
成立します。議案の議決など、
議会の意思を決定する重要な
会議です。

委員会

市議会に提出される議案や
請願などは数多く、内容も
幅広い分野にわたっています。



委員会室【第一委員会室】

それらを慎重に審査するため
には、いくつかの部門に分け
専門的に調査・検討する必要
があります。そのために、議
会には、本会議のほかに内部
審査機関として委員会が設け
られ、実質的な審査は各委員
会で行われています。

● 常任委員会
町田市議会には、四つの常
任委員会が設置されており、
議員は、いずれか一つの委員
会に所属しなければなりません。
各常任委員会の定数は九名
で、任期は二年です。

各常任委員会の所管部

企画総務常任委員会

企画部、総務部、税務部、
会計課、選挙管理委員会、監
査委員、農業委員会、他の
(常任)委員会の所管に属さ
ない事項

保健福祉常任委員会

健康福祉部、子ども生活部、
市民病院



委員会室【議場ロビー】

文教生活常任委員会
市民部、教育委員会
都市環境常任委員会
環境・産業部、清掃事業部、
建設部、都市計画部、水道部、
下水道部

● 議会運営委員会

次の事項に関する調査を行
い、議案、請願、陳情等を審
査します。

● 特別委員会
特別委員会は、市民生活上、
あるいは政治上、特に重要で
あると、二つ以上の常任委員
会の所管にまたがり、委員
会の連合審査では所期の目的
が達せられないような特定の
事件の審査や調査をするため
必要に応じて議会の議決によ
って設置されます。

特別委員会は、議会から付
託された事件についてのみ審
査・調査を行う能力を持ち、
審査・調査が終了すれば消滅
します。

● 法外委員会

町田市議会には、法外委員
会として災害対策委員会が設
置されています。

災害が発生した時、市が実
施する災害応急対策に積極的
に協力するとともに、災害復
旧を早急に行わせ、市民の生
命、財産の保全に努めること
を目的としています。

● 委員会の組織(現行十一名)
議長、各常任委員長、各会派
から選出する議員 任期二年